

第5号様式（第7条関係）

会議録

会議の名称	令和6年度 清須市生涯学習推進計画策定検討会
開催日時	令和7年1月29日（水） 午後2時～午後3時
開催場所	清須市役所南館 3階 大会議室
議題	1. あいさつ 2. 議題 (1) 清須市生涯学習推進計画（第2期）案について (2) その他
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料1 「清須市生涯学習推進計画（第2期）案」 ・ 資料2 「清須市生涯学習推進計画（第2期）案における修正・追加箇所等」 ・ 資料3 「清須市生涯学習推進計画（第2期）案に係るパブリック・コメントの実施結果について」 ・ 別紙1 「清須市生涯学習推進計画策定検討会委員名簿」 ・ 別紙2 「清須市生涯学習推進計画策定検討会設置要綱」
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	0人
出席委員	大村委員、丹羽委員、和田委員、富田委員、佐藤委員、吉田委員、野呂委員、小出委員
欠席委員	梶浦委員、河合委員
事務局	天竺教育長、大沼課長、高山スポーツ課長、藤田課長補佐、柴垣課長補佐、鈴木生涯学習係長、葛西文化振興係長、鈴木スポーツ係長、吉山主事、武田主事

会議の経過

1. あいさつ

天竺教育長よりあいさつ

大村会長よりあいさつ

2. 議題《意見の要旨》

(1) 清須市生涯学習推進計画（第2期）案について

大村会長 それでは議題（1）「清須市生涯学習推進計画（第2期）案について」事務局から説明をお願いします。

事務局 資料1、資料2に基づき説明

大村会長 今の説明についてご意見、ご質問をいただきたいと思います。

丹羽副会長 11ページの「清須城」の「須」の漢字が異なるのではないかと思います。

事務局 戦国時代までの「清須城」を表す場合は主に大須の「須」の字を用いています。この部分は歴史的な記載のため「清須城」としています。

小出委員 46ページの「清須代官所」は、現存していないため「清須代官所跡」ではないかと思います。また、清須代官所を復興し、将来的に歴史博物館にできたらよいと思っています。

事務局 名称は、春日町時代に「清須代官所」という名称で埋蔵文化財包蔵地の届出をしています。現在は案内板の掲示に留まっているため、今後は清須代官所の周知をしていけたらと思っています。

大村会長 小田井城跡は、出土遺物は無いのでしょうか。

事務局 小田井城跡は、愛知県が過去に中世城館跡の調査を行い、文献や地籍図などからこのあたりが小田井城の跡にあたるのではないかとこのことで、埋蔵文化財包蔵地としています。本格的な発掘調査を行っておらず、畑等での散布も知られていないため出土遺物は無いという記載をしています。

大村会長 10ページの「すべての施設において」という記述については、2022年以降、春日公民館は減少しているため、確認をお願いします。

事務局 分かりにくい表現であると思うため、検討したいと思います。

大村会長 39ページの成果指標の基本目標1について、「この1年間で生涯学習を行った人の割合」とありますが、調査では「学習を行った人」としたと思います。「生涯学習」は個々の学習は指さないため、こ

の表記では混乱を招くのではないかと思います。

「生涯学習講座の参加者満足度」の指標も同じく混乱を招くのではないかと思います。また、これらはそれぞれ別のアンケートですか。

事務局 清須市が実施している生涯学習講座の参加者に実施したアンケート調査です。

大村会長 「生涯学習講座」というのは、固有名詞でしょうか。

大沼課長 「生涯学習講座」という名前で講座を展開しているため、固有名詞という認識です。

大村会長 意見として、計画書の最後に、アンケート調査の結果概要を掲載していますが、基本的に調査を実施した際にはその結果を示すことが原則であると思っています。他の形で調査結果を公表する予定が無いのであれば、冊子の中で調査結果を記載した方が良いのではないかと思います。

大村会長 13ページ以降、タイトルが「前期計画」と定義されていますが、「前期」という表現は、「中期」や「後期」を連想してしまいます。今回は第2期であるため、第1期計画のことを「前期」と呼んでいると思いますが、説明書きも無いため、分かりにくいのではないかと思います。1ページでは「前計画」となっているため、併せて検討をお願いします。

大沼課長 「前期計画」と呼んでいるものは、平成30年に策定された第1期を指していますが、表現について検討します。

大村会長 ご意見いただいたところを踏まえて、この計画案で進めていただくということによろしいでしょうか。

委員 (意見なし)

大村会長 ご承認いただきましたので、進めさせていただきます。

事務局 資料3に基づき説明

大村会長 今の説明についてご意見、ご質問をいただきたいと思います。

委員 (意見なし)

大村会長 ご承認いただきましたので、進めさせていただきます。

(2) その他について

事務局 今後のスケジュールについて説明

大村会長 今の説明についてご意見、ご質問をいただきたいと思います。

委員	(意見なし)
大村会長	ご承認いただきましたので、進めさせていただきます。
大村会長	本日が最後の会議となりましたので、委員のみなさまから一言ずつお願いします。
佐藤委員	高齢化が進む中でも、さまざまな取り組みを取り入れたいと思っているため、いろいろな情報を提供していただきたいです。
富田委員	文化協会が高齢化し、クラブ数も減少しているため、生涯学習を通じて興味をもった人が、文化協会に参加してもらえるような仕組みができるとうれしいと思います。
和田委員	西枇杷島町の頃から20年以上、社会教育委員を務めています。2018年に生涯学習推進計画ができ、その計画を時代に合わせて変化させていくことが重要であると思います。これまでは同じような事業を繰り返してきましたが、今回の計画書は将来を見据えたものとなっているため、この計画を継続することで、清須市の生涯学習環境ができるといいと思っています。いろいろな意見の人がいると思いますが、それぞれの意見を聞きながらやっていくことが大事だと思います。
小出委員	ハコモノを作る時代ではありませんが、公共施設を活用したサロンのようなものを考えていただき、継続・持続性と将来の展望をもった人を配置して、充実させていただきたいと思う。
野呂委員	自分はさまざまな人や団体と関わることができ、充実した人生を送っていると思います。市民のみなさまが市内で有意義な生活ができるように、計画の推進により、豊かな生活になる社会が実現されるようにお手伝いできたらいいと思います。
吉田委員	策定検討会が始まった当初は、自分が役に立てるか不安でしたが、委員のみなさまの意見や計画書の内容を読んだり考えたりする中で、学習の場として事業を委託させてもらっていることをありがたいと思うのと同時に、今のニーズに合ったものを考えていく必要があると思いました。
丹羽副会長	計画書41ページに「本計画の進捗管理については、・・・社会教育委員へ報告し、社会教育委員会が内容を精査することで、」とあり、身の引き締まる思いです。社会教育委員長として、事務局と共に生涯学習について前向きに取り組んでいきたいと思っています。
大村会長	今回の計画づくりでは「個性をはぐくみ、学びでつながるまち、き

よす」という新しいスローガンができたことが、第一に素晴らしいことであると思います。生涯学習が、一人が生涯にわたって学び続けるという「個人」に光があたっていたものを、それを大事にしつつ、学習をするということで、人と人との繋がることができるようになるという大事な一面を打ち出していただき、今後の清須市のまちづくりや人の育ちを支えていく計画になるのではないかと期待しています。

来年度、清須市が市制20周年であり、平成の大合併の中で歴史も文化も違う町が一緒になってから20年が経ったということで、感慨深いものがあります。今も地域の文化は生きているし、歴史を学ぶことで、清須のまちを自分たちの町として育てていく人が育つという思いがあります。

これからは学校を通じて子どもや大人が育つ仕組みと生涯学習推進計画を連携して進めていくことで、よりこの計画が生きてくると思うので、清須市には期待したいと思います。そのような計画づくりに関わらせていただけて感謝しています。前回の計画よりも、一歩進んだ計画ができたと思いますので、ぜひこの計画を実践しながら、この計画が生きて働くように育てていただければと思います。

閉会

会議の結果	審議に関する事項はなし
問い合わせ先	教育部生涯学習課 052-400-2911 (清須市役所南館1階)